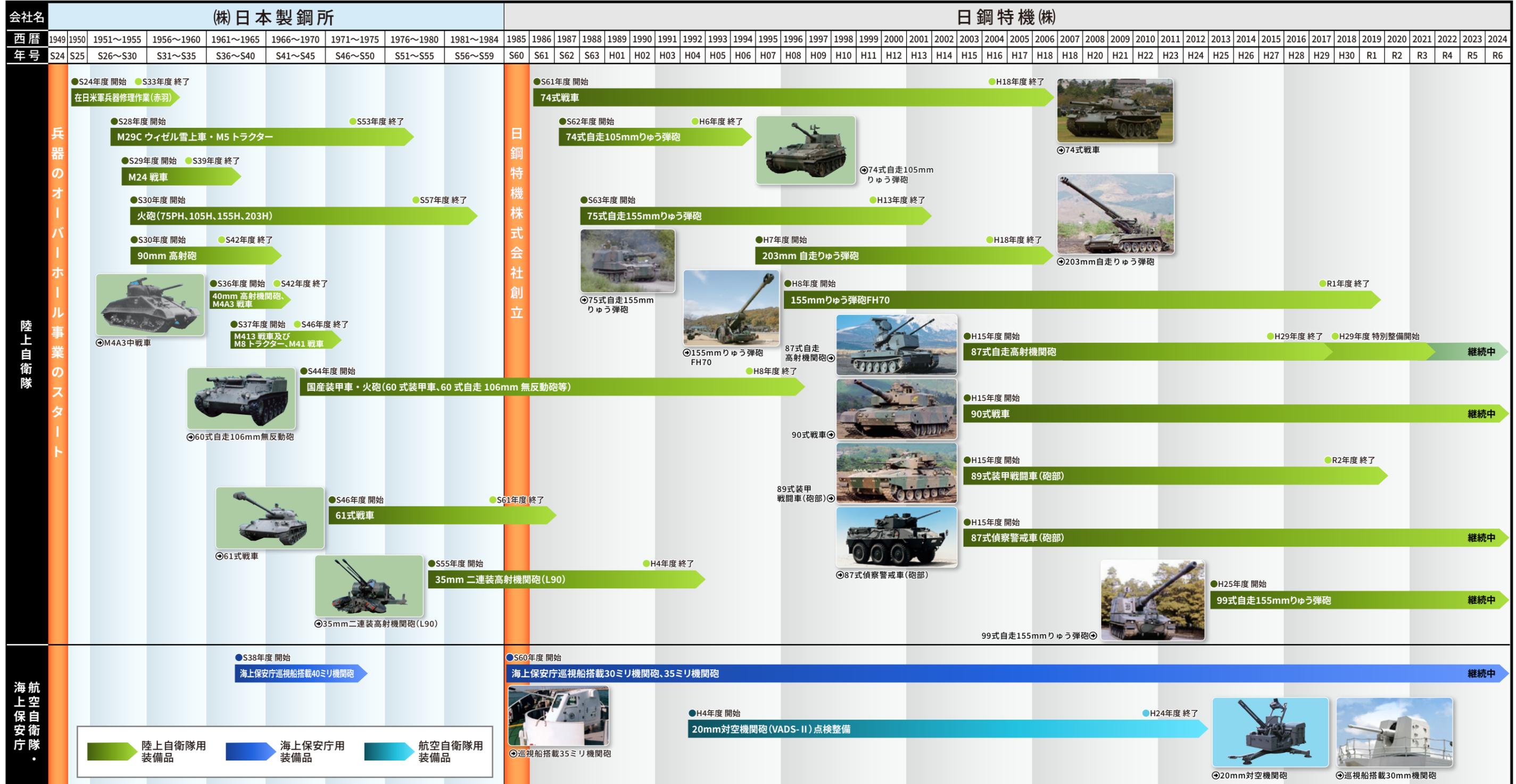


オーバーホールのあゆみ

当社は、(株)日本製鋼所が昭和24年1949年以来、営々と努力し培ってきた防衛装備品整備の基盤と技術を基礎に、
新たな技術の研鑽に努めお客様のご要望に応じてまいりました。

現在は室蘭と広島の2拠点にて事業を展開し、今後も総合的な防衛装備品整備会社としてより一層お客様に満足して頂けるよう努力してまいります。



<p>1949年：～戦後における兵器のオーバーホール事業開始～ 在日米軍兵器修理作業開始(日本製鋼所・赤羽作業所) 1953年：北海道地区でのオーバーホール開始(日本製鋼所・室蘭) 1954年：戦車整備開始(赤羽作業所から室蘭に技術者転属) 1958年：米軍兵器修理作業終了、武器補給処と役務契約を結び、同十支処において修理作業を開始(～'61年) 1983年：74式戦車試行整備(日本製鋼所・室蘭)</p>	<p>1985年：～日鋼特機(株)の創立～ 1985年：海上保安庁巡視船搭載35ミリ機関砲整備開始 1986年：74式戦車の整備開始 1987年：74式自走105mmりゅう弾砲整備開始 1988年：75式自走155mmりゅう弾砲整備開始 1992年：20mm対空機関砲(VADS-II)点検整備開始</p>	<p>1995年：203自走りゅう弾砲整備開始 1996年：155mmりゅう弾砲FH70整備開始 2003年：87式自走高射機関砲、120mm戦車砲(90式戦車(砲部)) 89式装甲戦闘車(砲部)、87式偵察警戒車(砲部)整備開始 2013年：99式自走155mmりゅう弾砲整備開始 2017年：87式自走高射機関砲特別整備開始</p>	<p>2021年：海上保安庁巡視船搭載30ミリ機関砲整備開始 2023年：10式戦車(砲部)整備開始</p>
--	---	--	--